



解説

税金を支払い忘れてたらどうなる!? 延滞税に気をつけて。

税金は「いつまでに納めなければならないのか」という期限も大切です。万一、延滞すると延滞税もかかるので、期限を守ってしっかり支払いましょう。

● 延滞税ってどのくらいかかるの?

- ・ 期限の翌日から支払いまでの日数に応じて、利息に相当する金額が課されます。
- ・ 2ヵ月以上遅れると「延滞税」*1が高くなります。

延滞税の利率	
支払期限～2ヵ月を経過する日まで	年「7.3%」と「特例基準割合*2+1%」 いずれか低い割合
2ヵ月を経過する日の翌日以降	年「14.6%」と「特例基準割合*2+7.3%」 いずれか低い割合

*1 自動車税や固定資産税などの地方税は「延滞金」と呼び、支払期限の翌日から1ヵ月を経過する日以降は利率が高くなります。

*2 特例基準割合とは
国税での延滞税、利子税や地方税等での延滞金、還付加算金の算定等に使用される数値のこと。
各年の前年の12月15日までに財務大臣が告示する短期貸出約定平均金利の年平均に1%の割合を加算した割合をいいます。

● 口座振替を活用しよう

- ・ 税金の支払い忘れを防ぐためにも、口座振替を活用すると便利です。

税金の支払期限はそれぞれ違うから気をつけなくちゃ!





「暮らしのデジタル化」 3つの豆知識

社会貢献につながる電子納付

